

令和8年(2026年)9月11日

保護者の皆様

札幌市立南白石小学校
校長 佐藤 元 基

全国学力・学習状況調査の「結果」及び「改善」について

爽秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動に温かい御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、4月に実施しました「全国学力・学習状況調査」について、本校の調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。この調査は、現6年生を対象に実施されたものですが、その結果を本校全体の学習や生活の状況を把握するための資料の一つとして捉え、今後の授業改善や教育活動の充実に生かしてまいります。保護者の皆様におかれましても、本調査の趣旨を御理解いただき、引き続き本校の教育活動への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 全国学力・学習状況調査について

4月23日(木)に、全国の小学校第6学年と中学校第3学年を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。この調査は、児童生徒一人一人の学力や学習状況を把握・分析し、その結果を今後の授業改善や教育活動の充実に生かすとともに、教育の成果や課題を継続的に検証・改善していくことを目的としています。

2 「教科に関する調査」結果の分析について

下記の表のように、国語、算数それぞれの領域について、①と②を一体的に出題された問題に解答しました。

教科	国 語					
領域	言葉の特徴や使い 方に関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文 化に関する事項	話すこと・聞く こと	書くこと	読むこと

教科	算 数				
領域	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用

①	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
②	知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力 等

また、各教科について、領域それぞれの正答率を全国平均と比較し、以下の比較値に照らして表記しています。（全市共通）

基準	全国平均 +3.1%以上	全国平均 +3.0%以内	全国平均	全国平均 -3.0%以内	全国平均 -3.1%以下
表記	上回っている。	ほぼ同程度であるが、 やや上回っている。	ほぼ同程度	ほぼ同程度であるが、 やや下回っている。	下回っている。

3 「生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査」結果の分析について

全国平均と比較した本校の結果のうち、特に特徴が見られた項目についてお知らせします。

4 その他

今回の調査結果は、今後の指導の改善・充実に生かすとともに、次年度の「『学ぶ力』育成プログラム」に反映してまいります。なお、現6年生児童の調査結果（個人票）につきましては、7月22日（水）に配付しております。

【国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「情報の扱い方に関する事項」

- 全国平均を下回っている。

「話すこと・聞くこと」

- 全国平均を下回っている。

「書くこと」

- 全国平均を上回っている。

「読むこと」

- 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- 話や文章には、それぞれ目的や内容に応じた種類や特徴があることを理解すること。

「情報の扱い方に関する事項」

- 文章や資料の中で、考えとその理由、具体的な事例などの情報同士の関係を捉えること。

「話すこと・聞くこと」

- 資料を活用しながら、自分の考えや伝えたいことが相手に分かりやすく伝わるように、表現を工夫すること。

「話すこと・聞くこと」

- 相手に伝わりやすいように、話の中心を明確にし、理由や具体例を取り入れながら、内容や構成を工夫して話すこと。

「書くこと」

- 文章や資料から必要な部分を引用し、自分の考えが相手に伝わるように、内容や表現を工夫して書くこと。

- 新聞記事や説明文、意見文などを読み比べ、文章の目的や構成、表現の特徴を見付ける活動を行う。文章の種類に応じた書き方の違いを整理し、読むことや書くことに生かす学習活動の充実を図る。

- 文章や資料から考え・理由・具体例を見付け、線を引いたり図で整理したりする活動を行う。情報同士の関係を捉え、内容を正しく読み取る学習活動の充実を図る。

- 資料から必要な情報を選び、図や表を活用して伝えたい内容を整理する活動を行う。話す順序や言葉の使い方を工夫し、相手に分かりやすく伝える学習活動の充実を図る。

- 伝えたい考えを整理し、理由や具体例を付箋やメモに書き出して話の構成を考える活動を行う。聞き手を意識して、話の順序や表現を工夫しながら発表する学習活動の充実を図る。

- 文章や資料から自分の考えの根拠となる部分を選び、引用する箇所を明確にする活動を行う。引用した内容と自分の考えを結び付け、相手に伝わるように文章を書く学習活動の充実を図る。

【算数】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

【領域】

「数と計算」

- 全国平均を下回っている。

「図形」

- 全国平均を下回っている。

「測定」

- 全国平均を下回っている。

「変化と関係」

- 全国平均を下回っている。

「データの活用」

- 全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

「数と計算」

- 数を四捨五入して概数で表したり、目的に応じて概数を用いたりすること。

「数と計算」

- 整数と小数の仕組みを理解し、位をそろえて正しく計算すること。

「数と計算」

- 異なる分母の分数について、分数の大きさを比べたり、その理由を数や言葉を用いて説明したりすること。

「変化と関係」

- 基準量、比較量、割合の関係を捉え、図や式を用いて表すこと。

「図形」

- 直方体の形を構成する面や辺、頂点の関係を理解すること。

改善の方向

○四捨五入する位や概数で表す目的を考え、数直線や位取り表を用いて概数の表し方を確認する活動を行う。目的に応じて適切な概数を選び、理由を説明する学習活動の充実を図る。

○位取り表を活用して整数と小数の各位の値を確認し、小数点の位置を意識して計算する活動を行う。位をそろえることの大切さを理解し、正しく計算できるようにする学習活動の充実を図る。

○数直線や図を用いて異なる分母の分数の大きさを比べ、分母をそろえる考え方を確認する活動を行う。比べ方の理由を、図や式、言葉を用いて説明する学習活動の充実を図る。

○基準量・比較量・割合を表す言葉に着目し、数量の関係を数直線や図に表す活動を行う。図を基に関係を整理し、式で表したり考え方を説明したりする学習活動の充実を図る。

○直方体の模型や展開図を用いて、面・辺・頂点の数や位置関係を確認する活動を行う。面のつながりや辺の長さに着目し、直方体の構成を図や言葉で説明する学習活動の充実を図る。

【質問紙調査】

質問紙調査の結果概要及び改善の方向等について

全国学力・学習状況調査では、教科に関する調査に加え、学習意欲や生活習慣などについての質問調査も実施されました。本校では、この質問調査の結果を今後の教育活動の改善・充実に生かしていきたいと考えています。ここでは、全国平均と比較した本校の結果のうち、特に特徴が見られた項目についてお知らせします。御家庭におかれましても、お子様の学習や生活を見つめる一つの参考として御覧いただき、よりよい成長につなげていただければ幸いです。

【全国と比較して肯定的な回答の割合が高いもの】

質問番号	質問事項	本 校	全 国	全国平均差
36-4	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか。	73.3	44.9	+28.4%
36-1	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができますか。	76.7	49.5	+27.2%
70	英語の勉強は好きですか。	60.0	37.8	+22.2%
36-3	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができますか。	53.3	32.8	+20.5%
36-2	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができますか。	76.7	59.4	+17.3%
17	友達関係に満足していますか。	76.7	62.7	+14.0%
48	総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか。	53.3	40.0	+13.3%
6	学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。	53.3	40.6	+12.7%
21	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	66.7	54.7	+12.0%
39	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	40.0	28.3	+11.7%
69	英語の勉強は得意ですか。	40.0	28.9	+11.1%
72	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか。（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、PC・タブレットなどの ICT 機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	36.7	25.8	+10.9%
15	学校に行くのは楽しいと思いますか。	56.7	48.0	+8.7%
46	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。	60.0	52.7	+7.3%

【全国と比較して肯定的な回答の割合が低いもの】

質問番号	質問事項	本 校	全 国	全国平均差
61	算数の勉強は好きですか。	10.0	33.9	-23.9%
65	5年生までに受けた授業では、算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか。	26.7	44.9	-18.2%
53	国語の勉強は好きですか。	6.7	24.4	-17.7%
67	5年生までに受けた授業では、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思いましたか。	40.0	56.0	-16.0%
33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	20.0	31.9	-11.9%
60	算数の勉強は得意ですか。	20.0	31.6	-11.6%
14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	60.0	70.8	-10.8%
64	5年生までに受けた授業では、算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていましたか。	36.7	47.5	-10.8%
55	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	46.7	57.4	-10.7%
38	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。	16.7	25.8	-9.1%
43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	23.3	31.4	-8.1%
50	学級会における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。	23.3	31.3	-8.0%
49	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	30.0	35.2	-5.2%

5 全体を通して

【国語】

教科に関する調査の結果から、多くの領域で平均を下回っており、特に「話の中心を明確にし、理由や具体例を取り入れながら分かりやすく伝える力」に課題が見られました。

今後は、3ページの「改善の方向」に示した取組を踏まえ、文章や資料から必要な情報を正確に読み取り、考え・理由・具体例を整理しながら、自分の考えを分かりやすく伝える力の育成に努めてまいります。また、新聞記事や説明文、意見文などを活用し、文章の目的や構成、表現の特徴を捉える学習や、資料を基に考えをまとめて表現する活動を充実させ、学習の充実につながる授業づくりに取り組んでまいります。

【算数】

教科に関する調査の結果から、全ての領域において平均を下回っており、特に「概数や小数、分数、割合などの学習において、数の大きさや関係を整理し、理由を説明する力」に課題が見られました。

今後は、4ページの「改善の方向」に示した取組を踏まえ、**数直線や図、位取り表などを活用して数量の関係を正確に捉え、考え方を分かりやすく説明する力の育成に努めてまいります。**また、概数や小数、分数、割合、図形の学習において、**具体物や図を用いて理解を深め、根拠をもって考えを表現する活動を充実させ、学習の充実につながる授業づくりに取り組んでまいります。**

【質問紙調査】

○「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりに向けて

「自分が大切にされている」と実感するためには、自分のよさや可能性に気づき、友達のよさを認め合いながら、互いに支え合う関係を築くことが大切です。そのため、本校では「聞き方あいうえお」や「聞き上手」を全学級で日常的に活用し、相手の話を大切に聴き合う活動を進めています。また、仲間と協働して学ぶ中で、互いの考えを認め合い、学び合う喜びを感じられるよう取り組んでいます。

質問紙調査の結果から、「合意形成に向けて考えを深める学級活動の工夫」に課題が見られました。

今後は、**授業や学級活動の中で対話的・協働的な学びをさらに充実させ、「子どもの声を聴く」ことを全ての教育活動を貫く重点として、学校教育を推進してまいります。**また、「聴き合う」活動を通して、**支え励まし合う温かな人間関係を育み、心豊かに成長できるよう支援してまいります。**

○学び甲斐がある学校づくりに向けて

お子様に学ぶことの喜び（学びがい）を感じてもらうためには、自ら学び進めた自信や、友達とともに学び合う達成感を実感できる授業づくりが大切であると考えます。そのため、本校では「聴き合い、自ら考えて共に学び合う子の育成」を研究主題として、授業改善に取り組んでいます。

質問紙調査の結果から、「学んだことを活用する力や、自分の考えを整理して表現する力、学習を振り返り次につなげる力」に課題が見られました。

今後も、**対話的な学びや振り返りの活動を充実させ、図や資料を活用して考えを深めたり、互いの考えを伝え合ったりする学習を通して、主体的に学ぶ力の育成に努めてまいります。**また、毎日の「ぐんぐん」の取組や長期休み中の「家庭学習」を通して、**進んで学ぼうとする態度を育てるとともに、「分かる・できる・楽しい授業づくり」の充実を図ってまいります。**

○家庭や地域とともにある学校づくりに向けて

質問紙調査の結果から、「学校に行くのは楽しいと思いますか」「学校の勉強について、親や家族と話すことがありますか」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがありますか」の項目について、肯定的に捉えている様子がみられました。これは、学校や家庭における温かな関わりの中で、お子様が安心して生活し、学ぶことができている表れであると考えます。

今後も、**学校と御家庭が連携し、お子様の頑張りや成長を認め、意欲を高める声かけを大切にしながら、安心して楽しく学校生活を送ることができる環境づくりに努めてまいります。**また、「さっぽろっこ『学び』のススメ まほうのかいわ」の活用を通して、学校と御家庭が連携し、**お子様に寄り添い、伸びを認め、意欲を高める共感的・肯定的なメッセージを伝えながら、お子様の成長を支えてまいります。**

さっぽろっ子「学び」のススメ

さっぽろっ子「学び」のススメは、子どもと家庭、子どもと学校、学校と家庭をつなぐとともに、子どもの権利を大切にすることも大切です。

子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。

学校も、家庭も、まほうのかいわで習慣づくり



まほうのかいわを合言葉に「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくり！

